

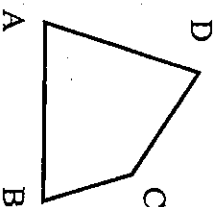
1. 座標平面内に、放物線 $C: y = x^2 - 2ax - 3a^2$ ($a > 0$) がある。 C と x 軸との2つある共有点のうち、 x 座標が大きい方を P とする。また、 C と y 軸との共有点を Q とし、 C の頂点を R とする。点 R を通り直線 PQ に直交する直線と y 軸との共有点を S とする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 直線 PQ , 直線 RS を表す方程式をそれぞれ求めよ。
- (2) 三角形 $\triangle PQR$ の面積を a で表せ。
- (3) $\triangle PQR$ と $\triangle QRS$ の面積が等しくなるときの a の値を求めよ。

3. 点 Q が四面体 $OABC$ の各頂点を1秒ごとに移動する。点 Q は頂点 O から出発し、 n 秒後に O, A, B, C に存在する事象をそれぞれ O_n, A_n, B_n, C_n とし、各事象の確率を $P(O_n), P(A_n), P(B_n), P(C_n)$ とする。ただし、点 Q が存在する頂点から1秒後に他の3つの頂点のいずれか1つに移動する確率はそれぞれ $\frac{1}{3}$ とする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 共通事象 (積事象) $O_{n+1} \cap A_n$ の確率 $P(O_{n+1} \cap A_n)$ を $P(A_n)$ で表せ。
- (2) $P(O_{n+1}), P(A_n), P(B_n), P(C_n)$ を用いて表せ。
- (3) $P(O_n)$ を求めよ。

2. 図のような四角形 $ABCD$ において、辺 AB と辺 CD が平行でなく、辺 DA と辺 BC も平行でないものとする。辺 AB と辺 CD のそれぞれの延長線の交点を E , 辺 DA と辺 BC のそれぞれの延長線の交点を F とする。 $\vec{AB} = \vec{a}, \vec{AD} = \vec{b}$ とおく。 $\vec{AC} = k\vec{a} + \ell\vec{b}$ (k, ℓ は実数) と表したとき、次の問いに答えよ。



- (1) $k \neq 1$ かつ $\ell \neq 1$ を示せ。
- (2) ベクトル \vec{AE} を k, ℓ, \vec{a} で表せ。
- (3) 対角線 AC の中点を L , 対角線 BD の中点を M , 線分 EF の中点を N とするとき、 L, M, N は一直線上にあることを示せ。

4. 関数 $f(x) = -x^2 + 6x + 2|x - 3| - 6$ について、次の問いに答えよ。

- (1) $y = f(x)$ のグラフをかけ。
- (2) 曲線 $y = f(x)$ と直線 $y = ax$ が4点を共有するような a の値の範囲を求めよ。
- (3) 曲線 $y = f(x)$ と直線 $y = \frac{3}{5}x$ で囲まれた部分の面積を求めよ。

問題集の1ページ目
。七色ワタナベ